

漫湖水鳥・湿地センター

たよひ

2005年1月20日発行

No. 19



センターのキャラクター
クロツラヘラサギ



おしりフリフリかわいいよ！
オナガガモ

冬はあったかい
沖縄がいいさあ

越冬のために、鳥たちが漫湖に集合！
さあ、漫湖へ出発だ！



おめめクリクリ
ムナグロ



お魚大好きミサゴ



カニをめがけて
アクロバット飛行！
ズグロカモメ

防火・救急訓練 12.16

もしものために



平成 16 年 12 月 16 日に豊見城消防署の皆様のご協力を得て、防火訓練と心肺蘇生法をセンター職員全員が受けました。もしものときに、どう

するのか？
一つ一つ確認しながら訓練を行いました。

平成16年度環境省自然解説指導者研修に参加して…

「気づかせるために 黙る」

宮城 靖子 (漫湖水鳥・湿地センター職員)

期間: 12月7日～10日
場所: 静岡県 田貫湖ふれあい塾



秋の寒々とした空の下、全国の自然ふれあい施設の職員がより効果的な自然解説活動（インタープリター）を学ぶため静岡県の田貫湖ふれあい塾に集まりました。

研修は朝から晩まで続いたが、どれもが新しく考えさせるような内容ばかりでした。そして自分の働くセンターと常に比較対照し、研修を受けることができました。そのためセンターの役割をもう一度見直し、目的にあった展示や活動をしているかを検証することができました。

一番印象的であった言葉は「黙ることの大切さ」。伝えることを説明で教えるのではなく、体験することによって気づかせ、感じたことを一緒に分かち合い、学びを深めて今後につなげていくのが体験学習といわれています。しかし、インタープリターがしゃべりすぎるとせっかくの体験活動も半減してしまいます。つつい多くを話してしまいたくなるわたしたち、ぐっとこらえて「黙る」という手法もインタープリターにとって重要なことだと思いました。



現在、漫湖水鳥・湿地センターでは外でのプログラムは、行っておりません。しかし、館内でのライブカメラを使っての説明・間接的なインタープリテーション（自然解説）である展示物なども少しずつ新しいものを取り入れて行きたい思います。



鳥の鳴き声を聴ける図鑑



自然情報でんごん版。
見つけたものをみんなに
教えよう！



はてなボックス。箱の中には何があるかな？



うわー！
なに？これー？？

漫湖水鳥瓦版19 ~渡り鳥真っ盛り! 12月~

	羽数	先月との比較
ゴイサギ	1	↑
ダイサギ	12	↑
チュウサギ	4	→
コサギ	6	↑
アオサギ	20	↑
クロツラヘラサギ	3	↑
スズガモ	1	↓
オナガガモ	18	↑
カルガモ	3	初認
コガモ	2	初認
ミサゴ	3	→
バン	4	↑
シロチドリ	27	↓
ムナグロ	179	↑
ダイゼン	24	↑
トウネン	6	↓
ハマシギ	14	↑
アカアシシギ	36	↑
アオアシシギ	19	↑
コアオアシシギ	6	↑
キアシシギ	3	↑
イソシギ	12	↑
オオソリハシシギ	1	→
ダイシャクシギ	19	↑
チュウシャクシギ	5	↓
タシギ	1	初認
ズグロカモメ	2	↑
合計	430	↑

12月の最大個体数

先月の個体数との比較

↑増加 ↓減少 →同じ



センター裏にて

シロハラ：今年は、とっても多いシロハラ君。落ち葉の下の虫を一生懸命探す姿が見られますよ！

12月1日小学生が持ってきたマダラサソリ。沖縄本島で捕まえたと聞きましたが、八重山諸島にしかないサソリです。木材について来たのでしょうか？謎です。



ある日、お正月のお飾りのみかんが食べられていました！！

観察してみたところ、犯人はヒヨドリでした。残念ながら、食べている所は写真に撮れませんでした。



<つれづれなるままに・・・管理日誌より>

12月15日・・・干潟の波打ち際でヒメハブ?の頭と尾が岩にはさまって死んでいた。

12月18日・・・干潟の中を犬が走り回って鳥たちを蹴散らしていた。問題である。

12月22日・・・センター前に車にひかれたマングースの死体を発見。

12月26日・・・カニは少なく、トントソミーも観察できない。寒いので、めっきり少なくなった。

ようこそ! 漫湖水鳥・湿地センターへ

総入館者数

33,758 人



○利用団体 12月○

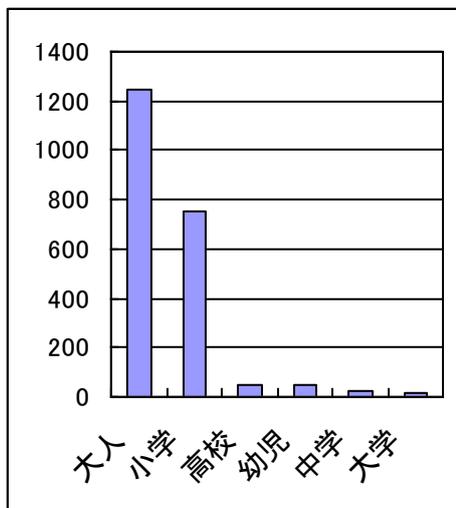
学童・子ども会
田原児童クラブ
スノーピー子ども会
小学校
とよみ小学校 2 年生
とよみ小学校 3 年生
とよみ小学校 4 年生
とよみ小学校 6 年生
垣花小学校 5 年生
新城小学校 5 年生
佐敷小学校 5 年生
中学・高校
上之山中学校 1 年生
豊見城高校 3 年生
南風原高校
那覇国際高校
美里高校
大学
沖縄大学
医療・福祉関係
デイサービスいきいき
その他
博物館干潟観察会
近畿日本ツアーリスト

12月の入館者数

2,145 人

(うち団体 787 人)

年代別入館者数 (人)



市町村別入館者数 (人)

	市町村	人数
1	豊見城市	531
2	那覇市	422
3	県外	107
4	佐敷町	45

今月の入館者は、オープンして以来はじめて豊見城市が那覇市を抜いて1番になりました!

そして、地元の高校生の団体が多く来館してくれました!うれしいことです!!

編集後記

総合的学習、削減?

文科省、学校現場、保護者、おこぼれに漫湖水鳥・湿地センターも右往左往、そして子どもたちは、迷える子羊かな。

明けましておめでとうございます。この所、寒い日が続いておりますが、干潟の鳥たちは寒さにめげず、元気にえさをついばんでいます。今年も当センターをよろしくお願い致します



広川 ヨシ子

< 漫湖水鳥・湿地センター管理運営協議会 (環境省・沖縄県・那覇市・豊見城市) >

〒901-0241 沖縄県豊見城市字豊見城 982 TEL(098)840-5121 FAX(098)840-5118

開館時間 9:00 ~ 17:00 休館日: 月曜日 (月曜日が祝日の場合・翌日)、年末年始 (12/29 ~ 1/3)

E-mail: manko_mizudori@ybb.ne.jp

HP: [http:// www.geocities.jp/manko_mizudori/](http://www.geocities.jp/manko_mizudori/)